

芸術開発！！ 縄文ストラップづくりテキスト

縄文時代（約 12000 年前～ 2400 年前）といえば、縄文土器や土偶はとくに有名ですね。でも、この時代の人たちは、それだけでなく、さまざまなものにすばらしいデザインを取り入れてます。「あれ？こんなものまで縄文時代にあったの？」と思うくらい、デザインのほとんどがこの時代に生まれ、そのデザインは世界的にも有名です。さあ、縄文デザインを取り入れて、自分だけのオリジナルストラップを作りましょう！

材料：オープンねん土・ピン・ストラップ金具・ヒモ
道具：竹ぐし



一例：土面ストラップの作り方



① 顔（ねん土の板）をつくる

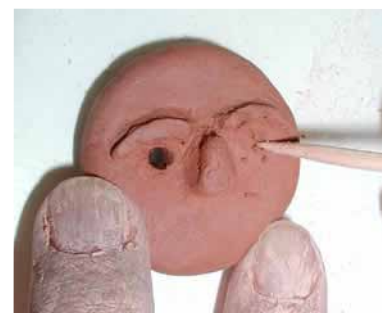
手に水をつけて、ねん土が耳たぶの柔らかさになるまでねります。ねったら 1.5cm ほどの丸い玉にします。

つぎに、ねん土の玉を手のひらの上ではさんで平らにします。直径 3cm までです。



② 眉毛や鼻をつくる

粘土を細くして眉毛や鼻にします。ねん土に水を軽くつけて、①の板に乗せましょう。ねん土とねん土のつなぎ目は、水でぬらした竹ぐしでおさえるようにして、しっかりとくっつけましょう。



③ 目や口をつくる（ねん土をくりぬく）

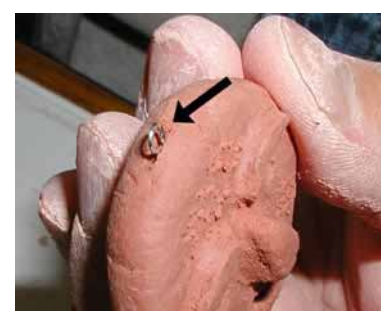
水でぬらした竹ぐしで目の部分を少しずつくりぬきましょう。口は鹿の角を取り付けるヒモをとおすので、少し大きめにくりぬきましょう。

顔のまようは竹ぐしでかきましょう。

※いきなり竹ぐしをつきさすと、顔がわれたり形がくずれるので注意！

④ ピンをつける

ストラップ金具をつけるためのピンを、ねん土板のまん中あたりにさして、根元をふさぎます。



できた！



ストラップ金具



土面（ねん土でつくります）